

事務事業名	緑のカーテン推進事業 ☐ 実施計画事業		所属部局	農林商工部		単位番号	6226										
			所属課室	みどり自然課		課長名	戸栗 香										
			所属担当	花とみどりの推進		担当者名	藤巻 和彦										
基本政策	基本計画	IV	快適で心のかよいあう都市づくり	予算科目	会計	名称	款	項	目	細目	細々目						
政策	計画体系	19	自然環境の保全と活用	事業区分	01	一般	0	1	0	4	0	6	0	2	0	0	8
施策	32	自然と共生する地域づくり	☐ 国の制度による義務的事業 ☐ 施設等維持管理事業 ☐ 県の制度による義務的事業 ☐ 補助金交付事業 ☐ 市の制度による義務的事業 ☒ その他の事業 ☐ 義務化されている協議会等の負担金														
事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始年度 年度) ☐ 期間限定複数年度 (年度) ~ 年度)			法令根拠	山梨県緑化計画 南アルプス市みどりの基本計画												
事務事業の概要	事業の内容・・・期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載				事業費の主な内訳 (22年度)												
	★緑のカーテン推進事業 地球温暖化対策の一つとして、また、みどり豊かな街並み形成のため市内小中学校、保育所、公共施設、一般家庭、企業等に緑のカーテンを設置し、その普及・啓発を進めるための支援を行う事業				項目(細節) 金額(千円) 項目(細節) 金額(千円)												
					講師謝金 40												
					消耗品費 318												
					食糧費 4												
					その他委託料 179												
				計 541													

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 活動	22年度活動実績	○モデル施設:小中学校等7施設・モデル地域:飯野11区○市民モニター50人○モニター講習会・観察会・報告会
	23年度活動予定	○モデル施設:小中学校、保育所等36施設・モデル地域:飯野11区○市民モニター70人○モニター講習会・観察会・報告会
② 対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	市民(一般家庭) 市内小中学校、保育所、公共施設、	
③ 意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていけるのか、どのように変えるのか)	毎年、緑のカーテンを楽しみながら育てる一般家庭及び市内小中学校や保育所、公共施設を増やす。	
④ 上位目的(どのような結果に結び付けるのか)	地球温暖化防止対策への意識が高まり、できることから積極的に実行するようになる。	

⇒	⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標) 数字は記入しない	名称	単位
	ア	緑のカーテンモニター講習会開催回数	回
	イ	緑のカーテン観察会開催回数	回
	ウ	緑のカーテン報告会開催回数	回
⇒	⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標) 数字は記入しない	名称	単位
	ア	市民・小中学校・保育所・公共施設	ヶ所
	イ		
	ウ		
⇒	⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標) 数字は記入しない	名称	単位
	ア	みどり自然課が関与している設置箇所数	ヶ所
	イ		
	ウ		
⇒	⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標) 数字は記入しない	名称	単位
	ア	地球温暖化防止に関心を持っている市民の割合	%
	イ		

(2) 事業費・指標の推移			単位	21年度 (決算・実績)	22年度 (決算見込・実績)	23年度 (予算・目標)	24年度 (次年度計画・目標)	25年度 (計画・目標)	26年度 (計画・目標)	最終 年度 (トータルコスト・目標)
年間 トータル コスト	事業費	国庫支出金	千円							
		県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		一般財源	千円	395	500	553	46	46	46	
	事業費計 (A)			千円	395	500	553	46	46	0
	人件費	正規職員従事人数	人	1	2	2	2	2	2	
		延べ業務時間	時間	240	240	240	240	240	240	
		人件費計 (B)	千円	1,071	1,071	951	951	951	951	0
		(A)+(B)	千円	1,466	1,571	1,504	997	997	997	0
活動指標	ア	回		1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	
	イ	回		1.0	1.0	1.0	0.0	0.0	0.0	
	ウ	回		1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	
対象指標	ア	ヶ所		25,042.0	25,042.0	25,042.0	25,042.0	25,042.0	25,042.0	
	イ									
	ウ									
成果指標	ア	ヶ所		58.0	67.0	108.0	110.0	110.0	110.0	
	イ									
	ウ									
上位成果指標	ア	%		30.0	30.0	35.0	40.0	45.0	45.0	
	イ									

(3)この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか？	平成20年度より地球温暖化対策の一つとして、市内小中学校、保育所、公共施設、一般家庭、企業等に緑のカーテンを設置し、その普及・啓発を進める支援を行う。
② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べてどう変化しているか？また、今後の予測は？	2005年2月の京都議定書の発効により、国際的に公約した温室ガスを2012年までに6%削減に向け、国や市町村が役割に応じ、総力を挙げて地球温暖化防止対策に取り組み始めた。
③ 事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか？	商店街や一般家庭に普及を進める。

(4) 改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は？	☐ 取り組みしている ⇒【内容！】 ☒ 取り組みしていない ⇒【理由！】
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過(取り組みしていない場合はその理由)	緑のカーテンの一般モニターを募集
③ H 22年度に実施した改革改善の内容	緑のカーテンのモニターを募集しセミナー等を開催した。

事務事業名	緑のカーテン推進事業	所属部	農林商工部	所属課	みどり自然課
-------	------------	-----	-------	-----	--------

2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年年度事業は途中評価)

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？意図が上位目的に結びついているか？	☐ 結びついていない(見直し余地がある) ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 結びついている ⇒【理由↓】 地球温暖化防止対策の一つとして、市内小中学校、公共施設、一般家庭、企業等に緑のカーテンを設置し、その普及・啓発を進めるための支援を行う。	
	②公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？民間やNPOに委ねることは可能か？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 妥当である ⇒【理由↓】 夏の節電対策と地球温暖化防止対策の一環で行っているため、税金を投入しても妥当といえる。すでにNPO法人に一部を委託している。	
	③維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 適切である ⇒【理由↓】 一般家庭、小中学校、公共施設、企業等へ普及を図り、夏の節電対策や地球温暖化防止対策に効果が得られることが期待できるので、今後も維持・継続をしていくことは、妥当である。	
有効性 評価	④成果の向上余地 事務事業のやり方・進め方を変えることで成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	☐ 向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 向上余地がない ⇒【理由↓】 一般家庭、小中学校、公共施設、企業等へ普及を図り、夏の節電対策や地球温暖化防止対策に効果が得られることが期待できる、	
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることはできるか？	☐ 類似事務事業がある ⇒(類似する事務事業の名称を記入↓) ☐ 統合・連携ができる ⇒【理由と具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☐ 統合・連携ができない ⇒【理由↓】 ☒ 類似事務事業がない	
	⑥休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	☐ 影響なし ☒ 影響あり ⇒【理由と影響の内容↓】	☐ 休止・廃止ができる ☒ 休止・廃止できない ⇒【理由↓】 緑のカーテンに対する意識の高揚が薄れ、設置者が激減する。
効率性 評価	⑦事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	☐ 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 削減余地がない ⇒【理由↓】 普及を図っていくためには、モデル施設を増やし、市民にPRをするので、事業費は削減できない。	
	⑧人件費の削減余地 成果を下げずに人件費を削減できないか？(事業のやり方の方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	☐ 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 削減余地がない ⇒【理由↓】 NPO法人へ委託部分を増加する。	
公平性 評価	⑨受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 公平・公正である ⇒【理由↓】 モニターを公募により募集しているので、公平公正である。	

3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
① 目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ② 有効性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ③ 効率性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ④ 公平性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり	東京電力福島第一原子力発電所事故に伴い、電力需要が増加する夏場に深刻な電力不足が予想されている。室内の温度の上昇を抑制し、エアコン等の使用を控える節電効果、建物に熱を蓄積させないヒートアイランド緩和の効果が得られる「緑のカーテン事業」を積極的に推進する。ただ、今年度予定していた苗は、前年度に受注生産したもので急には苗を確保することができない状況もある。今後は、市民に広く、この事業を広めるためには、今までの推進事業を改革する必要がある。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)・・・複数選択可	(3) 改革・改善による方向性																					
☐ 廃止(目的妥当性①、②、③の結果) ☐ 事業統合・連携(有効性⑤の結果) ☐ 公平性改善(公平性⑨の結果) ☐ 休止(目的妥当性①、②、③の結果) ☐ 成果向上(有効性④の結果) ☒ 現状維持(全評価項目で適切) ☐ 必要性検討(目的妥当性①、②、③の結果) ☐ コスト削減(効率性⑦、⑧の結果)	<table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト水準</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果水準</th> <th>向上</th> <td>☐</td> <td>☐</td> <td>☐</td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td>☐</td> <td>☒</td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td>☐</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> ※ 廃止・休止の場合は記入不要			コスト水準			削減	維持	増加	成果水準	向上	☐	☐	☐	維持	☐	☒		低下	☐		
				コスト水準																		
		削減	維持	増加																		
成果水準	向上	☐	☐	☐																		
	維持	☐	☒																			
	低下	☐																				
(2) 改革改善案について	(5) 事務事業優先度評価結果																					
① 広報活動を充実し、モニターを一層増加させる。 ② ③	成果優先度評価結果 ③ コスト削減優先度評価結果 ⑪																					
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策																						
① 広報活動を工夫し、関係課及びNPO法人と連携をとり推進していく。 ② ③																						